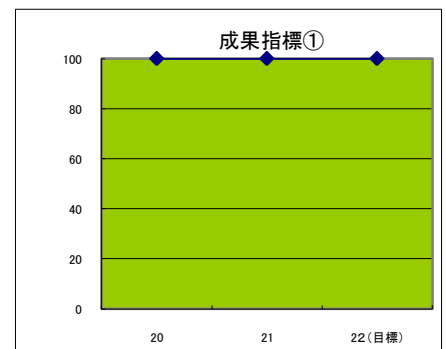
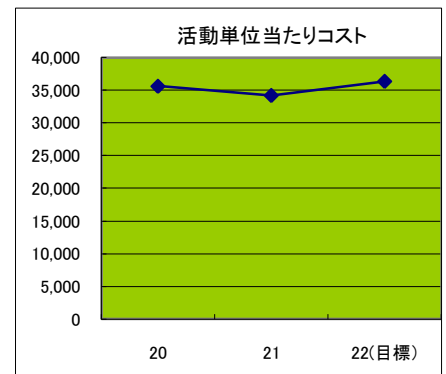


事務事業名		防犯灯管理事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	14	防犯対策費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	事業	2	防犯灯管理	
	施策(節)	4	防犯				
	施策の方向	(3)	防犯対策の推進				
関連する計画等				作成部署	市長公室危機管理室		
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2712		
	市で管理している防犯灯						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	適切に管理し犯罪を抑制する						
	市で設置した防犯灯を適切に管理する。						
根拠法令等							
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化		当初は市で管理する防犯灯が多くあったが各町会が出来ると管理を変更している。現在は町会のない場所のみに設置している。					
市民や議会の要望							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容			

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		347	311	530
人件費【2】 (千円)		3,180	3,180	3,180
職員数	正規職員	0.40 人	0.40 人	0.40 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		3,527	3,491	3,710
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	3,527	3,491	3,710
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 防犯灯数	灯	99	102	102
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		35,626 円	34,225 円	36,373 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		29 円	29 円	31 円



成果指標	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	①	適正管理率 (式)	%	電気料金や球切れや故障等に対する対応	目標	100	100	達成率(%)	100	
					実績	100	100	100.0%		
	②	(式)			目標			達成率(%)		
					実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民の不安の抑制にもつながり犯罪防止にも必要である
				○							

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	犯罪抑止には必要であり、市が設置した防犯灯を管理するのは妥当である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☒	☐	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	最小の人数で効率的に管理を行っている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
人員を削減する余地がない		☒	☐	☐		
事業費を削減する余地がない		☒	☐	☐		
簡略化できる方法や手段がない		☒	☐	☐		
市の他事業と重複していない		☒	☐	☐		
民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない		☒	☐	☐		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	犯罪抑止の為には有効である。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	市民からの要望もありまた、市でも調査し設置・修繕等を行っている。	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	適正に管理できている。	
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	市民からの要望に適切に対応している。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 犯罪抑止や市民の不安解消にもつながる事業の為今後も続けていく	

行 事 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	